

10 ダイコン栽培省力化のための2粒播種法

福島県農業試験場 野菜部・種芸部
平成12年度農業試験場試験成績概要
分類コード 03-18-00000015

部門名 野菜－ダイコン－栽植様式・栽植密度

担当者 服部 実・太田弘志・青田 聡

I 新技術の解説

1 要旨

(1) 2粒播種の理論的な欠株率は、発芽率90%の場合で1%、80%の場合で4%であり、実用上問題がない。

(2) 2粒播種によって、間引の作業時間は従来の3粒播種に比べ40%短くなる。また、収穫までに要する作業

時間全体では8%省力化できる。

(3) 種苗費は従来の3粒播種に比べ、30%程度低下する。

(4) 2粒播種による収量、品質への影響はみられない。

(5) 吸引式播種機により高精度の2粒播種が可能である。

2 期待される効果

ダイコン栽培において栽培の省力化、低コスト化を図ることができ、規模拡大が容易となる。

3 適用範囲

県内のダイコン産地

4 普及上の留意点

出芽が種子の発芽率以外の要因(土壌条件等)で規制されると予想される場合は、従来の3粒播種とする。

II 具体的データ等

表1 播種粒数と欠株率の理論値

播種 粒数	保証 発芽率(%)	株あたり出芽率(%)			
		3本	2本	1本	欠株
3粒	90	72.9	24.3	2.7	0.1
	80	51.2	38.4	9.6	0.8
	70	34.3	44.1	18.9	2.7
2粒	90	-	81.0	18.0	1.0
	80	-	64.0	32.0	4.0
	70	-	49.0	42.0	9.0

表2 間引作業速度

NO.	区名	平均作業速度 (m/min)	作業時間 (h/a)
1	2粒播種	2.21	1.37
2	3粒播種	1.31	2.31

表3 収穫時の生育・収量

NO.	区名	収穫率	全収量	規格内	規格別構成(%)※2				
		※1		収量	規格外	M	L	2L	3L
		(%)	(kg/a)	(kg/a)					
1	2粒播種	93.8	683	525	31	22	33	13	1
2	3粒播種	97.5	660	514	32	27	30	11	0

※1 収穫率:収穫本数/苗立株数

※2 規格別構成: M(0.9-1.1kg) L(1.1-1.3kg) 2L(1.3-1.5kg) 3L(>1.5kg)

表4 吸引式播種機繰出精度(2粒播種設定時)

	0粒	1粒	2粒	3粒	4粒
出現割合(%)	0.0	7.8	85.1	5.8	1.3

Ⅲ その他

- 1 執筆者 : 服部 実・高橋徹
- 2 主な参考文献・資料: なし